



# 仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 見上一幸

仙台市青葉区国分町三丁目1-1  
(仙台第一生命ビル 5階)

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

## キリバス民間ユネスコ協会 本格始動！ 設立支援準備プロジェクト

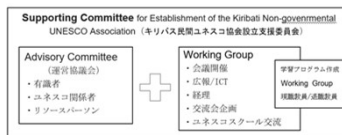
会報第466号で申請中とお知らせした本事業は、「プラットフォーム事業」の枠組みを外れ、昨年度「キリバス民間ユネスコ協会設立予備調査プロジェクト」に続く「キリバス民間ユネスコ協会設立支援準備プロジェクト」として、当協会独自のSDGs関連事業として活動を開始しました。本プロジェクトは「SDGs for 2030」の行動を、民間ユネスコ活動として展開していくもので、気候変動の影響を大きく受けているキリバス共和国での民間ユネスコ協会設立を支援し、仙台ユネスコ協会の民間ユネスコ運動における発祥のネームバリューを生かして共に活動し、連携して国際社会に発信していくことを目的としています。

プロジェクトパートナーのケンタロ・オノ氏は、「持続可能な社会は、互いを知り、交流することから」と仰います。今年度の活動の軸は、キリバス共和国を切り口に地球が直面している課題を学び、交流によって両国内の学校や市民活動におけるESD/SDGs活動を活性化し、互いの文化を尊重し合う多文化共生社会の指向と考えています。

推進組織として、協会内Working Groupメンバーと外部有識者の皆さんで「Supporting Committee」を立ち上げました。

(※組織図参照)

\*キリバスプロジェクト推進組織



プロジェクト始動にあたり「Update Meeting」「Advisory Committee」を会場とZoomのハイブリッドで開催しましたのでご報告します。

9/24

◆第1回Update Meeting

Working Groupは、6Group、メンバー24名のうち、会場14名、Zoom8名、計22名が参加しました。ケンタロ・オノ氏によるキリバスの現状と課題、昨年度の予備調査の結果報告の後、今年度の計画・スケジュールを確認しました。



会場の様子

10/1

◆第1回Advisory Committee

外部有識者8名のご参加をいただき、WGから15名、計23名で開催しました。委員の皆様には、グローバルな観点でのご提言をいただき、活動の幅が広がる期待が高まりました。

(内藤 恵子 記)



学校間交流の様子も紹介

## 「民間ユネスコ運動の日」

今年は日本がUNESCOに加盟して70周年になります。そこで「UNESCO加盟70周年記念事業」と銘打って、7月10日(土)「仙台福祉プラザ・ふれあいホール」にて65名の参加のもと記念行事を開催しました。初めに青年部代表・仲海渡さんの先導で「ユネスコ会員綱領」を唱和し、その後全員で「ユネスコの歌」を斉唱しました。次いで、見上会長の挨拶と書き損じはがきを寄付いただきました団体・個人への感謝状贈呈の紹介をいたしました。

今年は東日本大震災から10年目という節目にあわせ、キーワードを「防災」とし、記念講演は防災士・防災キャスターとして活躍されている阿部清人さんを講師にお迎えして、「防災エンスショーとエネルギー」と題して講演していただきました。東日本大震災での経験の紹介やエネルギーと防災の密接な関係のお話や、手作りでの道具を用いた実演も披露していただき、改めて防災とエネルギーの関係を知る良い機会になりました。最後に青年部の皆さんからの活動紹介があり、青年部の活動が今まで以上に活発になる様に当協会としても応援していきたいと思っております。

(松坂 宏造 記)



阿部 清人さん

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

# SALON&ZOOM 講座

**第2回 慶長遣欧使節の歴史的意義**  
～ヨーロッパで変わりつつあった  
世界観の中での慶長遣欧使節～

**第3回 イタリアにおける常長の足跡**  
～使節団を見つめる目：使節団観察記録～

6月18日と22日の連続講座の講師をしていただいたのは、元パヴィア大学キリスト教史教授：アンニーバレ・ザンバルビエーリ氏とベルガモ大学大学院日本語科契約教授：田中久仁子氏ご夫妻。アンニーバレ教授のイタリア語での講義を、田中教授が通訳をするというスタイルで実施しました。

前編では、ヨーロッパ諸国が、未開の果て（と思われていた）からの来訪者をどのように受け入れたのか、当時のヨーロッパの世界観や、宗教上の思惑などから解説していただきました。後編では、使節団が訪れたイタリア、スペイン各地の風景や建造物、フレスコ画などに残る一行の姿を、豊富なスライドで見せていただきました。



講師のザンバルビエーリ教授ご夫妻

田中教授が村井理事の学友だったことから企画に至ったこの講座は、ご夫妻が仙台市発刊「仙台市史特別編8慶長遣欧使節」に、海外調査・執筆協力者として関わっていた偶然も重なり、ユネスコ記憶遺産である「慶長遣欧使節関係資料」を収蔵する仙台市博物館の方々の参加はじめ、両回50名を越える受講という関心を呼びました。

**第4回 正しく知りたいESDとSDGs**

奇しくもアメリカ同時多発テロから20年目の9月11日、「正しく知りたいESDとSDGs」をテーマに講座を開催しました。講師は、協会理事の宮城教育大学：市瀬智紀教授。これからの事業の方向性としてESD/SDGs委員会を立ち上げたときから念願だったこの講座では、国連、UNESCOの成り立ちや役割からSDGsに至るまでの歴史を噛み砕いて解説いただきました。聴講した皆さんから「勉強になった」「全容が理解できた」と感想を述べていただき、ESD/SDGs理解につながったようです。

日本の達成度や取組みの課題から、「SDGs for 2030」の行動として一人一人が何をすべきか、考えさせられた時間となりました。

(内藤 恵子 記)



講師の市瀬教授

市瀬教授は、仙台ユネスコ協会のアカデミックなバックボーンです



## ユネスコ子ども絵画展 第24回「絵で伝えよう！ わたしの（町の）たからもの」

地域の文化や自然を見つめ直し、未来へと引き継いでいく気持ちを育てることを目的として毎年開催されている絵画展も24回と回を重ねてきました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、多数の応募作品がありましたが残念ながら展示会は開催することができませんでした。今年は、小学生129点 中学生44点の応募がありました。コロナ禍の日常生活の中で感じた「わたしのたからもの」にも多くの作品が寄せられました。11月12日（金）に審査会を行い、入賞作が決定しました。

2022年1月18日（火）～1月22日（土）  
東北電力グリーンプラザ・アクアホール  
にて開催予定です。



(西條 清和 記)

# ユネスコ団体会員紹介 「SDGsへの取り組み」

## (株) バイタルネット

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 【バイタルネット SDGs 宣言】

株式会社バイタルネットはSDGs（持続可能な開発目標）の理念に賛同し、企業理念「ひとびとの健康に奉仕し、健全な社会の育成に貢献する」に基づく事業活動を通してSDGsを推進することを宣言します。

### 【重点取組項目】


**医療と介護・福祉への貢献**

医薬品の安定供給を持続し、医療・介護・福祉が地域にいきわたる体制づくりを推進することで、社会的インフラとしての使命を果たします。



**健康で住みやすい地域づくり**

生活者の健康で住みやすい暮らしをサポートし、地域の持続的な活性化に貢献します。



**多様な人材の活躍**

ひとりひとりの個性を重視し活気ある働きがいのある職場づくりを行うとともに、多様な社会のニーズに対応できる人材を育成します。



当社では2020年度よりSDGsについて社内研修を開始し、各部門の若手社員を中心としたメンバーで構成した検討会を立ち上げ「SDGs宣言」を発信しました。

医薬品卸売業という当社の事業は「3. すべての人に健康と福祉を」に合致しており、日々の業務がSDGsに密接に結びついていることから事業活動を通してSDGs推進を行うこととなりました。そしてSDGsの視点を今後の事業活動に活かすため重点項目として「医療と介護・福祉への貢献」「健康で住みやすい地域づくり」「多様な人材の活躍」を定めました。

医薬品の安定供給を通じて医療の提供を支え、患者さんに適切な医療や医薬品やそれに伴う情報が提供されるような体制づくりを推進しています。また服薬アドヒアランスといって患者さん自身が自分の病気を受け入れて、医師の指示に従って積極的に薬を用いた治療を受けることを手助けすることも医療機関とメーカーのパイプ役である私たちができると考えています。

そして医療の地域格差解消・医療アクセスをはじめとする地域医療課題の解決に向けて取組むとともに、

地域医療に携わる多職種の連携の会の運営サポートを行うことで地域の医療と介護がスムーズに連携し、住みなれた地域の中での暮らしを守りたいと考えています。今後は介護予防、健康維持管理に向けた取組みや、病気の社会的認知度向上、患者団体の支援なども必要と思われる。また当社では「SMILE HEART ねっと」という社会貢献活動を推進しています。事業所近隣の清掃活動からチャリティラン、献血などさまざまな活動を通して住みよい地域づくりに取組んでいます。また病気の子どもとその家族のための宿泊施設「マクドナルド・ハウスせんだい」や東日本大震災で親を亡くした子どもたちをはじめ、社会的養護を必要とする子どもたちのための「子どもの村東北」へも設立当初より継続的な支援を行ってききました。

そしてこれらの活動を支える従業員が会社だけでなく地域でも活躍できるようなサポート体制を整えていく予定です。



## 創価学会 青年部



SOKA GLOBAL ACTION 2030

創価学会青年部では、青年の平和運動「SOKAグローバルアクション2030——青年の行動と連帯の10年」が本年1月から開始されました。これは、当会の創立100周年でもあり、国連が開発目標の決勝点に掲げている2030年を目指し、①核兵器廃絶と反戦の潮流の拡大 ②アジアの友好 ③SDGsの普及・推進を軸に、中長期的な視野に立って取り組んでいく運動です。

SDGsの推進では、気候変動への対策として、一人一人が挑戦できる具体的な行動を啓発する「マイ・チャレンジ10」を展開し、100万人を目標に行動を喚起しています。「使っていない照明を消す」「買い物時にマイバッグを使用する」など10個以上のチャレンジを呼び掛けるもので、結果は国連等にも届ける予定です。

また、震災から10年となった本年。東北青年部では、「誰一人取り残さない」とのSDGsの理念に基づき、震災を風化させない取り組みについて話し合いを重ねてきました。昨年11月からは、被災体験を青年に語り継ぐ「オンライン証言会」を、甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島の被災3県で行いました。

第1回となった宮城では、ライブ中継に青年の代表約100名が参加し、後日、配信を開始した創価学会公式YouTubeでも、30万回を超える再生回数となっています。

証言の中では、これまで当会が取り組んできた震災復興の歩みとして、小・中学校への図書贈呈、がれき処理などを手伝う「かたし隊」、避難所で開催した「希望の絆」コンサートなどの取り組みが紹介され、活発な質疑応答も行われました。

どこまでもSDGsの推進を「自分ごと」として捉え、青年部が先頭に立って変革への連帯を起こしてまいります。



丹野 信一さん

【マイ・チャレンジ10】  
SOKAグローバルアクション2030



【震災証言】希望を灯す『誓い』の共有へ  
丹野信一さん（宮城県・石巻市）創価学会公式



# 青年部だより

## 『民間ユネスコ運動の日』行事に参加

世界初の民間ユネスコ団体である仙台ユネスコ協会の創立日7月19日を『民間ユネスコ運動の日』とする行事が、7月10日、新型コロナウイルス対策を講じた上で仙台福祉プラザにて開催されました。



活動発表を行う青年部 仲代表

今年は日本がUNESCOに加盟して70周年であり、記念行事として記念ロゴも掲げられました。

記念講演は、全国各地でサイエンスインストラクターとして活躍されている阿部清人さんをお招きしての「防災エンスショーとエネルギー」。東日本大震災が発生した2011年3月11日、勤務していた泉区のラジオ局が被災して放送不能になるものの、夕方からNHKラジオに出演し、防災士として被災者へ共助を呼びかけた経験をお持ちの阿部さん。震災から10年という節目の年でもあり、最先端の地震対策やエネルギー事情について教えていただいたり、家で簡単に出来る科学実験の実演をしていただいたりと、充実の内容でした。

青年部の活動も紹介しましたが、最近ではコロナ禍で活動が縮小しているため、来年は皆さんにもっと色々な活動報告が出来ればと思います。

(青年部 堀 紗貴乃 記)

## 仙台青年会議所主催イベントにスタッフ参加

8月9日、今年度のオフラインでの活動は初めてとなる、仙台青年会議所の方々が主催した「GO OUT STUDY 体験ツアー 未来は僕らの手の中」に、スタッフとして参加しました。今回は、青年部から6名の参加となりました。久々に人前に立っての活動、そして小・中学生とのふれあいの場であった最初の方は緊張していたのですが、徐々に緊張もほぐれ、とても勉強となる会になりました。活動内容のSDGsカードゲームは初めてやりましたが、とても勉強になるものでした。SDGsの目標を達成していくことによって社会がどのように変化していくのかを、可視的に捉えることができるわかりやすいものとなっていて、今後の自分たちの活動に取り入れることができたらと思いました。

本来、8月14、15日に行われるはずであった体験プログラムは、宮城県の緊急事態宣言により、中止となってしまいました。とても残念ではありましたが、今回はこのような機会を得られて、青年部として学ぶことができたのではないかと思います。今回学んだことを、今後の活動に活かしていければと思います。

(青年部 仲 海渡 記)



「パンフレットとしおり」盛りだくさんな活動が準備されていました

## 2021年度 第68回 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール 宮城県予選 第56回 国際理解に関する弁論大会

宮城県高等学校国際教育研究会・外務省・(公財)日本国際連合協会主催による2021年度第68回「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」が、9月8日せんだいメディアテークを会場にして開催されました。



今年はコロナ感染拡大による宮城県の緊急事態宣言を受け、映像審査となりました。各高校から7名のビデオ映像により内容70点、表現態度30点の審査基準をもとに行われました。宮城県知事賞、仙台ユネスコ協会長賞を仙台二華高の齋藤麗さん(1年生)が受賞されました。

(小泉 知加子 記)

## 名取市長を表敬訪問

8月2日(月)14時より、名取市長を表敬訪問しました。「みちのく潮風トレイル」などを話題に山田市長と終始和やかな雰囲気の中で情報交換を行いました。山田市長は現場に足を運び視察することを第一に、様々な活動に積極的に参加をしたいとお話されていました。当協会のSDGsの講座に関しても興味を示され、活動の際は、名取トレイルセンターも是非活用して欲しいとの話がありましたので、早速10月30日開催のSALON&ZOOM講座で『みちのく潮風トレイル』を取り上げました。



(針生 真由美 記)

## これからの行事予定

### 第6回SALON&ZOOM講座

日時：12月18日(土) PM2:30~  
場所：事務局&ZOOM  
内容：心をつなぐコンサート  
(ピアノとヴァイオリン)  
演奏：MECP (<http://mecp-info.jimdo.com/>)

### キリバス×仙台 オンライン交流会

日時：1月29日(土) AM10:00~  
場所：福祉プラザ2Fふれあいホール  
内容：キリバスとオンラインでつないだ歌やダンスの交流

### 会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口)	年会費	20,000円
個人会員(一口)	年会費	5,000円
青年部会員(一口)	年会費	2,000円

### 仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	85
個人会員	156
青年部会員	20
合計	261

(2021年10月末現在)

### 【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子  
赤塚 吉雄 伊藤 律子  
岩山 浩一 菊池 健一  
佐藤 皇季 千葉 雅保

### 【編集後記】

仙台ユネスコ会報467号をお届けします。6月から10月までの活動報告をまとめました。7月に「UNESCO加盟70周年記念事業」と記念行事を開催いたしました。SALON&ZOOM講座も好評で回を重ねるたびに関心と呼んでいます。仙台ユネスコ協会は一人ひとりが思いやりの活動をしています。お仲間に加わって一緒に活動しませんか? 仙台ユネスコ会報編集長 小泉 知加子